

令和3年県民意識調査結果の概要について

■調査の概要

1 調査目的

行政活動の評価に関する条例（平成13年宮城県条例第70号）第7条の規定により，県の取組について，県民の皆様の重視度や満足度などを調査し，その結果を県の政策評価・施策評価などに活用するため，実施したもの

2 調査対象

宮城県に居住する18歳以上の方 4,000人（選挙人名簿等から無作為抽出）

3 調査方法

郵送配布，郵送又はインターネット回答

4 調査期間

令和3年11月25日（木）から令和3年12月20日（月）まで

5 調査項目

- 「宮城県の復旧・復興の進捗状況」に関する項目
- 「宮城県震災復興計画」に基づく7分野23の取組の重視度，満足度に関する項目
- 「新・宮城の将来ビジョン」に基づく8政策の重視度，満足度等に関する項目 ほか

6 回収結果

回収数：1,862通（うち有効回収数：1,859通）

回収率：46.6%（うち有効回収率：46.5%）

■調査結果の概要

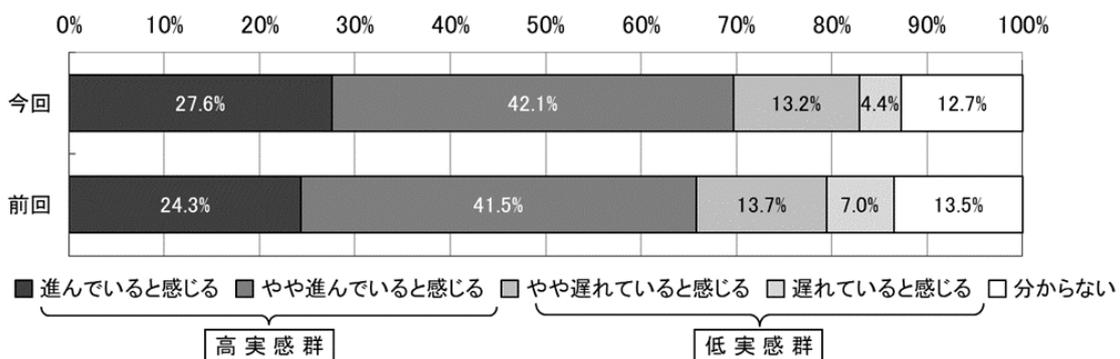
1 宮城県の復旧・復興の進捗状況について

一般的な復旧・復興の進捗状況の実感について調査したもの

調査結果の概要

- 「高実感群」は69.7%で，前回調査（65.8%）から3.9ポイント増加した。
- 「低実感群」は17.6%で，前回調査（20.7%）から3.1ポイント減少した。

※「高実感群」：「進んでいる」又は「やや進んでいる」と感じると回答した方の割合
※「低実感群」：「遅れている」又は「やや遅れている」と感じると回答した方の割合



2 宮城県震災復興計画について

「宮城県震災復興計画」に基づく取組に対する重視度、満足度等について調査したもの

調査結果の概要

- (1) 県全体では、「高重視群」で「上下水道などのライフラインの整備」が、「満足群」で「道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進」が1位となっており、「不満群」で「雇用の維持・確保」が1位となっている。また、「道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進」は、県全体・沿岸部・内陸部の全ての区分で「満足群」の1位となっている。
- (2) 沿岸部では、「高重視群」「満足群」「不満群」の全てにおいて、県全体で1位になった取組が1位となっており、「満足群」では「大津波等への備え」も同率1位となっている。また、「不満群」では、県全体では上位に入っていない「ものづくり産業の復興」が5位となっている。
- (3) 内陸部では、「高重視群」で「海岸、河川などの県土保全」が、「満足群」で県全体と同じ「道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進」が1位となっており、「不満群」で「持続可能な社会と環境保全の実現」の他、県全体と同じ「雇用の維持・確保」が1位となっている。

- ※「高重視群」:「重要」又は「やや重要」と回答した方の割合
 ※「満足群」:「満足」又は「やや満足」と回答した方の割合
 ※「不満群」:「不満」又は「やや不満」と回答した方の割合

県全体・沿岸部・内陸部における上位の取組

(1) 県全体

順位	高重視群	満足群	不満群
1位	○ 上下水道などのライフラインの整備 (7)	○ 道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進 (2)	○ 雇用の維持・確保 (3)
2位	○ 海岸、河川などの県土保全 (4)	○ 大津波等への備え (1)	○ 持続可能な社会と環境保全の実現 (2)
3位	○ 未来を担う子どもたちへの支援 (2)	○ 上下水道などのライフラインの整備 (5)	○ 商業・観光の再生 (6) ○ 海岸、河川などの県土保全 (1)
4位	○ 安心できる地域医療の確保 (6) ○ 防災機能の再構築 (3) ○ 大津波等への備え (1)	○ 未来を担う子どもたちへの支援 (3)	—
5位	—	○ 沿岸市町をはじめとするまちの再構築 (4)	○ 安心できる地域医療の確保 (5)

(2) 沿岸部

順位	高重視群	満足群	不満群
1位	○ 上下水道などのライフラインの整備 (8)	○ 道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進 (2) ○ 大津波等への備え (1)	○ 雇用の維持・確保 (7)
2位	○ 大津波等への備え (1)	—	○ 海岸、河川などの県土保全 (1)
3位	○ 海岸、河川などの県土保全 (3)	○ 上下水道などのライフラインの整備 (6)	○ 商業・観光の再生 (8)
4位	○ 未来を担う子どもたちへの支援 (4)	○ 未来を担う子どもたちへの支援 (4)	○ 持続可能な社会と環境保全の実現 (2)
5位	○ 防災機能の再構築 (2)	● 安心できる地域医療の確保 (8)	● ものづくり産業の復興 (10)

(3) 内陸部

順位	高重視群	満足群	不満群
1位	○ 海岸、河川などの県土保全 (6)	○ 道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進 (2)	○ 持続可能な社会と環境保全の実現 (4) ○ 雇用の維持・確保 (2)
2位	○ 上下水道などのライフラインの整備 (7)	○ 大津波等への備え (1)	—
3位	○ 安心できる地域医療の確保 (4) ● 安全・安心な学校教育の確保 (5)	○ 上下水道などのライフラインの整備 (4)	○ 商業・観光の再生 (6)
4位	—	○ 未来を担う子どもたちへの支援 (3)	● 魅力ある農業・農村の復興 (7) ○ 海岸、河川などの県土保全 (1)
5位	○ 未来を担う子どもたちへの支援 (1)	○ 沿岸市町をはじめとするまちの再構築 (7)	—

- ※ () 内の数字は、前回調査の順位
 ※ ●印は、県全体では上位5位以内ではないが、沿岸部又は内陸部では上位5位以内の取組

3 新・宮城の将来ビジョンについて

「新・宮城の将来ビジョン」に基づく8政策に対する重視度・満足度について調査したもの

調査結果の概要

- (1) 県全体では、「高重視群」及び「満足群」で「健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる」が、「不満群」で「子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる」が1位となっている。また、「不満群」の1位～3位は、「高重視群」の1位～3位にも入っている。

県全体における上位の政策

(1) 県全体

順位	高重視群	満足群	不満群
1位	○ 健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる	○ 健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる	○ 子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる
2位	○ 子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる	○ 世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる	○ 社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる
3位	○ 社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる	○ 産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる	○ 健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる
4位	○ 世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる	○ 全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる	○ 一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる
5位	○ 自然と人間が共存共栄する社会をつくる	○ 一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる	○ 自然と人間が共存共栄する社会をつくる